

SCIENCE PARK

関西大学初等部中等部高等部 理科通信

平成26年4月25日発行



弁天公園の野草観察 (E4理科)

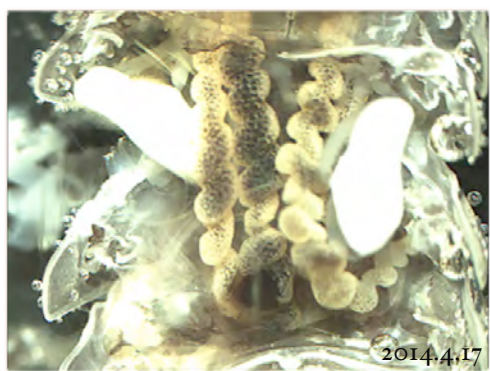
授業者：孕石康孝

「さあ、いくつ見つかるかな？」と先生の声で「よーし、たくさん見つけるぞ！」とやる気をだす4年生の子どもたち。子どもたちは野草が見つければ、観察カードにテープでその野草を貼り付けていきました。先生があらかじめ採取した野草と照らし合わせながら、子どもたちは自分の見つけた野草の名前を当てはめていきます。授業後は、カラーコピーをして、ノートに貼り付けます。もとの観察カードはラミネートし、みんな大切に保管しています。

化学かるた(J3理科α)

授業者：岡本竜平

みなさんが日常生活で目にするものは、様々な種類の「元素」で構成されています。それぞれの元素は、譲れない個性、いわゆる「特徴」を持っています。みなさんと同じですね。多くの元素から選ばれた48種類。それらの個性がイラストで描かれたカードを使って、「化学かるた」を行いました。写真はその個性を記録している様子です。最もたくさん取った生徒の記録は21枚、みんなで盛り上がり、楽しいかるた大会となりました。



ダンゴムシを解剖しよう(S2理系生物)

授業者：宮本裕美子

「体の構造から細胞へ」の単元で、ダンゴムシを解剖しました。事前に自分で捕まえて名前をつけておいたので、思い入れもあり、解剖するときには手が震えて、虫ピンがなかなか刺せない生徒もいました。目の前のダンゴムシの命に感謝しながら一所懸命解剖すると、どうやって呼吸しているのか？ マルピーギはなぜらせん状なのか？ 精子はなぜ線状なのか？ など、身近なダンゴムシからたくさんの不思議を見つけることができました。生物学の世界へようこそ！

赤ワインの色が消えた！(S2化学基礎)

授業者：松村湖生

高等部2年生の化学基礎では、混合物の分離としての過を学習します。ですが「ろ過なんて小学校から学習済み」なのです。そこで、アントシアン(色素)がたっぷり入った赤ワインに活性炭を混ぜ合わせてろ過してみました…。すると、なんと赤ワインの色素が活性炭に吸着されてろ液が無色に！ 活性炭はにおいを吸着させたり、水道水をきれいな飲み水にかえたりと、日常生活でも多く利用されていますが、赤ワインの色素までも吸着させるほどのパワーがあるのです。

